

本会議一般質問通知書

「天皇制」に関して

天皇制と部落差別の歴史について、内局はどのような見解をもっているのか、お答えください。

また、浄土真宗の教義（宗義）から天皇制はどのように位置づけられるのか。内局の見解をお答えください。

また、明治天皇より下賜された諡号額を今も御影堂正面に掲げつづけている理由は何なのか。内局の見解をお答えください。浄土真宗の教義上の事由があるのなら、お答えください。

合わせて、今6月末にできるという学習資料集『大師号と勅額』の内容は、以前のものとどのような内容の違いがあるのか。お答えください。

「同朋会運動」について

蓬茨祖運師の「同朋会運動は失敗でした」（教化機構検討委員会資料真宗大谷派教化機構検討のための指針(草案要綱)1はじめに)は、なぜ失敗だったのか。内局の見解をお答えください。

また、蓬茨師の文を引用された『教化研究』102号(P117)に、「知らぬうちに「宗派」内的発想になっていたのである。すると「教化」もすべて「宗派」内的発想になり、すべての人を撰する意義を失うことになる」との平野修師の指摘をどのように考えるのか。内局の見解をお答えください。

また、丸山照雄氏は「(同朋会)運動の宗教的命脈は1980年11月に終焉を遂げたのである」(仏教タイムス2011年)と指摘し、大谷家との訴訟問題が超法規的な処置で「即決和解」された時とするが、当局の見解をお答えください。

「生きた教学」について

「生きた教学を取り戻し、あらゆる人を御同朋と見出す眼をいただくことをとおして、寺がほんとうの寺となり、門徒がほんとうの門徒になる、同朋としての交わりを開く本願の共同体となっていくことを求めたのが同朋会運動であります」と述べられているが、「生きた教学」とはどのような教学なのか。「あらゆる人を御同朋と見出す眼」とはどういう眼なのか。「ほんとうの寺」「ほんとうの門徒」とはどういうものなのか。具体的にお答えください。